

## 楯築墳丘墓(倉敷市)

前方の丘陵上が、楯築墳丘墓が所在する王墓の丘史跡公園楯築地区



左手に回り込み、右手の坂を上って進む「楯築遺跡」と記された案内表示があった



楯築墳丘墓は倉敷市矢部の丘陵上に径約50mの円丘部、南北に2つの突出部を備えた全長約80mの弥生時代後期の双方中円形墳丘墓



ここ吉備地方には、大和朝廷が派遣した吉備津彦命が人々を苦しめた鬼神（温羅とも呼ばれる）を退治した伝説が残り、昔話「桃太郎」の原型になったとされています。

この楯築遺跡の上には5つの巨石が立っています。伝説の中でこの巨石は、命が温羅の矢を防ぐために築いた楯とされ、名称の由来となっています。

楯築遺跡は、弥生時代後期（2世紀後半）の墳丘墓です。推定全長は約80mと当時の墓としては国内最大規模で、墓の主は強大な権力を持っていた人物とされます。当時は楯築遺跡がある丘のふもと近くまで海が入り込んでおり、瀬戸内海を通じた大陸との交易により、力を蓄えたと考えられます。

There is a legend in the Kibi area that tells of how a prince of ancient Japan named Kibitsuhiko-no-Mikoto vanquished an ogre god (also known as Ura) who tormented the people. This legend is thought to be the model for the famous Japanese fairytale *Momotaro*.

Five great stones stand above Tatetsuki Ruins. In the legend, these are said to be shields that Kibitsuhiko-no-Mikoto constructed to defend against Ura's arrows. It is thought that these ruins, built in the second half of the second century, were the tomb of an enormously powerful person; at around 80 m long they would have been the largest in the country at the time.

ここから王墓の丘史跡公園楯築地区へ向かう

[video](#)



王墓の丘史跡公園は、楯築地区・日畑赤井堂地区・王墓山地区よりなる/楯築地区には、2世紀後半の楯築墳丘墓の外に、6世紀後半築造の向山古墳群と西山古墳群が同じ丘陵上に所在する

## 王墓の丘史跡公園案内

王墓の丘史跡公園は、王墓山丘陵に残された貴重な遺跡群を広域的に保存・公開するため約六・五ヘクタールの区域について整備を行ったものである。

公園は、楯築地区・日畑赤井堂地区・王墓山地区の三つの地区に分かれている。これらの地区には、楯築遺跡(国指定史跡)・王墓山古墳(県指定史跡)・日畑廃寺(市指定史跡)などの史跡のほか、総数六〇基にものぼる古墳が残されている。

これらは吉備地方の歴史を考える上で欠くことのできない重要な遺跡であり、永く後世に伝えていかなければならない。



文化財を大切にしましょう

倉敷市教育委員会

丘陵に登って行く途中に説明板が立っていた



# たて つき い せき 楯 築 遺 跡

国指定史跡  
昭和56年12月9日指定

JAPAN HERITAGE

「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま  
～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～



弥生時代後期（2世紀末頃）に造られた墳丘墓。墳丘は、やや歪んだ円形を呈する円丘部とその両側に長方形の突出部をもつ特異な形をしています。突出部の大部分は、昭和40年代に行われた住宅団地造成の際に破壊されました。消滅した突出部を含む全長は約80mと推定され、同時期の墳丘墓では全国でも最大級の大きさを誇ります。

昭和51年から平成元年にかけて、岡山大学考古学研究室が中心となって発掘調査を実施し、遺跡の全体像が明らかとなりました。

5個の巨大な立石がある円丘部からは、2基の埋葬施設が確認されました。このうち中心主体となる埋葬は、円丘中央部に掘られた長さ9mの巨大な墓壇を伴い、木棺の外側を木の板で囲んだ木棺木槨構造であることがわかりました。木棺内には鉄剣1口と、勾玉や管玉、ガラス製小玉などの玉類が副葬されていたほか、歯の小片2点も検出されました。また、棺の底には、

総重量32kgを越える大量の水銀朱が分厚く敷き詰められていました。木棺の上方は大量の円礫で埋め戻されており、その中から、特殊器台や特殊壺といった供献土器をはじめ、人形土製品や土製の玉類などが出土しました。また、墳丘の脇にある収蔵庫に納められている旋帯文石（国指定重要文化財）と同様の文様を持つ小形の石（弧帯文石）が、意図的に割られた状態で発見されており、このふたつの石の関係が注目されます。

南西突出部の調査では、その先端が給水塔のフェンスの下に残存していることが明らかとなり、平らな面を外側にして立てられた列石が良好な状態で検出されました。また、突出部の前面では、尾根を切断するように掘られた大溝も確認されており、墳丘墓の造営がかなり大規模なものであったことがわかります。

楯築遺跡は、弥生時代から古墳時代にかけての墓制の変遷を考える上で重要な遺跡であるとして、国の史跡に指定されています。

倉敷市教育委員会



## Tatetsuki Ruins

The Tatetsuki Ruins site is a burial mound constructed during the late Yayoi period (near the end of the 2nd century). It is constructed in the characteristic shape of a circular area nearly 40 meters in diameter with rectangular areas jutting out from both sides. Its full length is estimated at approximately 80 meters, and is one of the largest burial mounds in Japan to be constructed during this period.

On the mound stand five massive stones, and in the past, round stones were spread on the slopes. In the center of the circular area, a large 9-meter-long grave was dug, with a wooden coffin put inside. An iron sword, gems, and other burial items were discovered in the wooden coffin, with numerous pieces of cinnabar spread around its bottom. Peculiar kotaimonseki stones—stones inscribed with circular band patterns—were also discovered and received attention for the way they were deliberately cracked.

This is a vital site in knowing the changes of burial practices occurring in this region from the Yayoi period to the Kofun period (around 400 BC–AD 700).



① 墳丘測量図



② 墳丘復元想定図



③ 明らかとなった中心主体部の全容

写真中央部に、木棺底部で確認された朱が鮮やかにみえる。木棺跡から手前に延びる石組みは階梯状に造られた排水溝で、墳丘墓では珍しい。墓室内に見える土手状の高まりは、土層観察用に残しているもの。



④ 検出された木棺跡（東から）

木棺本体は腐って残っていないが、朱の痕跡によってその大きさがわかる（木棺全長約2m）。

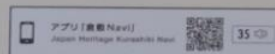


⑤ 木棺底部の副葬品

中央部分に見える勾玉や管玉の一群あたりが、中心主体の頭部にあたる。その左には、鉄剣が副葬されている。



日本語 / English / Français / 中文(簡体字・繁体字) / 한국어



35

楯築墳丘墓は、直径約50m、高さ5mの円丘部を中心にして、北東側と南西側に突出部を備えた、弥生時代の後期では国内最大級の墳墓遺跡であり、一大吉備勢力にまとめ上げた大首長の墓と考えられている



① 墳丘測量図



② 墳丘復元想定図



### ③ 明らかとなった中心主体部の全容

写真中央部に、木棺底部で確認された朱が鮮やかに見える。木棺跡から手前に延びる石組みは暗渠状に造られた排水溝で、墳丘墓では珍しい。墓壙内に見える土手状の高まりは、土層観察用に残しているもの。



④ 検出された木棺跡（東から）

木棺本体は腐って残っていないが、朱の痕跡によってその大きさがわかる（木棺全長約2 m）。



⑤ 木棺底部の副葬品

中央部分に見える勾玉や管玉の一群あたりが、中心主体の頭部にあたる。その左には、鉄剣が副葬されている。

説明板 ③



⑥ 南西突出部先端の調査風景

給水塔のフェンスの下で、破壊を免れた南西突出部先端の列石が姿を見せた。その手前には、突出部を形成するため、幅3m以上の大溝が掘られていた。



⑦ 南西突出部先端の列石

石は比較的平らな面を外に向け、石の間には小さな隙を詰めて補強している。



⑧ 木棺上部の円礫堆

円礫に混じって、弧帯文石の大きな塊が見える(写真左端)。



⑨ 円礫堆から出土した弧帯文石

大小数百片に割られた状態で検出された。上面から側面にかけて火を受けた痕跡があり、意図的に割られたものと思われる。



⑩ 木棺内から出土した玉類



⑪ 円礫堆から出土した特殊器台

大きさは、高さ約1.1m  
口径・底径約46cm



⑫ 木棺内から出土した鉄剣



⑬ 円礫堆から出土した人形土製品

全面が線刻により飾られている。

⑫は(株)山陽新聞社、その他は岡山大学考古学研究室提供

# 楯築地区案内図



- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1 王墓山向山8号墳  | 4 王墓山向山14号墳 | 7 王墓山西山1号墳 |
| 2 王墓山向山9号墳  | 5 王墓山向山15号墳 | 8 王墓山西山3号墳 |
| 3 王墓山向山11号墳 | 6 王墓山半儀1号墳  |            |



⑥ 南西突出部先端の調査風景

給水塔のフェンスの下で、破壊を免れた南西突出部先端の列石が姿を見せた。その手前には、突出部を形成するため、幅3 m以上の大溝が掘られていた。



⑦ 南西突出部先端の列石

石は比較的平らな面を外に向け、石の間には小ぶりの礫を詰めて補強している。



⑧ 木棺上部の円礫堆

円礫に混じって、弧帯文石の大きな塊が見える(写真左端)。



⑥ 南西突出部先端の調査風景

給水塔のフェンスの下で、破壊を免れた南西突出部先端の列石が姿を見せた。その手前には、突出部を形成するため、幅3m以上の大溝が掘られていた。



⑨ 円歴堆から出土した特殊器台

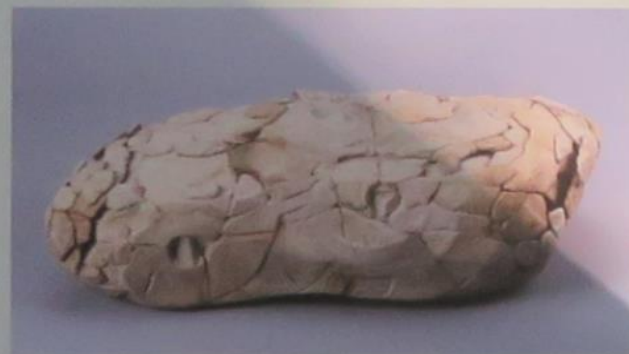
大きさは、高さ約1.1m  
口径・底径約46cm



⑩ 木棺内から出土した玉類



⑪ 木棺内から出土した鉄剣



⑫ 円歴堆から出土した弧帯文石

大小数百片に割られた状態で検出された。上面から側面にかけて火を受けた痕跡があり、意図的に割られたものと思われる。



⑬ 円歴堆から出土した人形土製品

全面が線刻により飾られている。

②は(株)山陽新聞社、その他は岡山大学考古学研究室提供

# 楯築地区案内図



- |             |             |            |
|-------------|-------------|------------|
| 1 王墓山向山8号墳  | 4 王墓山向山14号墳 | 7 王墓山西山1号墳 |
| 2 王墓山向山9号墳  | 5 王墓山向山15号墳 | 8 王墓山西山3号墳 |
| 3 王墓山向山11号墳 | 6 王墓山半依1号墳  |            |



正面は墳丘墓南西側にある収蔵庫/ここに、かつて楯築遺跡の上に建てられていた楯築神社の御神体として亀石と呼ばれている旋帯文石が納められている/南西突出部先端の発掘調査時に、旋帯文石と同じ文様をもつ小型の石(弧帯文石)が出土したことから、旋帯文石も楯築遺跡と同じ弥生時代の終わり頃に作られたものであることが明らかにされた/左手前に説明板が立っている [video](#)



せん たい もん せき  
旋 帯 文 石

国指定重要文化財  
昭和57年6月5日指定

隣にある収蔵庫に納められているこの石は、かつて楯築遺跡の上に建てられていた楯築神社の御神体で、円丘上に今も残る小さな石の祠に長らく安置されていました。石の表面には、帯が円を描きながら複雑に絡み合う文様が彫り込まれており、その様子は収蔵庫の窓越しに見ることができます。正面には、顔と思われる表現が浮彫りにされており、地元では別名「亀石」とも呼ばれています。

この不思議な文様を持つ石は他に類例がなかったため、その性格や製作時期については長らく謎のままでした。しかし、岡山大学が実施した楯築遺跡の発掘調査で、旋帯文石と同じ文様をもつ小形の石(弧帯文石)が出土したことから、この石は、楯築遺跡と同じ弥生時代の終わり頃に作られたものであることが明らかとなりました。

倉敷市教育委員会

JAPAN HERITAGE

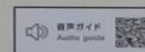
「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま  
～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～



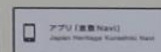
## Sentaimonseki Stone

The Sentaimonseki Stone is stored in the repository next to the Tatetsuki Ruins. This stone was once an object of worship at Tatetsuki Shrine, which used to be on the mound area of the Tatetsuki Ruins. The size of the stone measures approximately 90 centimeters in length and width, and near 35 centimeters in thickness. Its entire surface is inscribed with circular bands intricately interweaving into one another. At its front is a relief carving resembling a face. The stone can be seen through the window of the depository.

In the past, the age of the stone's inscriptions was unknown, but thanks to excavations at the Tatetsuki Ruins site conducted by Okayama University, we now know through the unearthing of stones with the same patterns carved into them (kotaimonseki stones), that the Sentaimonseki Stone was created around the end of the Yayoi period (400 BC – AD 300) when the Tatetsuki Burial Mound was built.



音声ガイド  
Audio guide



アプリ(遊覧Map)  
Japan Heritage Okayama Visit

36

日本語 / English / Français / 中文(簡体字・繁体字) / 한국어

旋帶文石/重要文化財

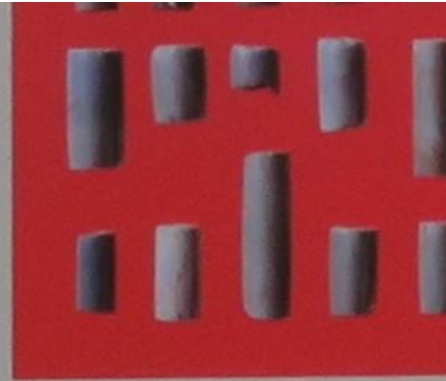




⑫ 円礫堆から出土した弧帯文石

大小数百片に割られた状態で検出された。  
上面から側面にかけて火を受けた痕跡が  
あり、意図的に割られたものと思われる。

円筒埴輪の祖型とされる特殊器台



⑩ 木棺内から出

⑨ 円歴堆から出土した  
特殊器台

大きさは、高さ約 1,1m  
口径・底径約 46 cm

さて、ここが楯築墳丘墓の円丘部/南側から見たところ

 video



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ





墳丘墓の頂上には5つの巨石が取り囲むように立っている/このストーンサークルは、温羅の射た矢を防ぐ「楯」を「築」いたものなのか、古代の祭祀場だったのか・・・/東側から見たところ [video](#)



その右手を見たところ



「楯築神社跡地」と記された標柱が立っている/ここに楯築神社が建てられていたようだ

[video](#)



この小さな石の祠に、旋帯文石が長らく安置されていたと云う/背後に立つのが立石1



立石3



立石4



立石2



こんなものも





立石5



こちらにも石が・・・



こんな塩梅



さて、これは円丘部から南西側の突出部方向を見たところ/給水塔建設により、突出部は破壊されていて原型をとどめていない

 video



反対の北東側の突出部方向を見たところ/こちらも住宅開発により破壊されているが、僅かにその高まりが見て取れる状態

 video



右下(東側)から見たところ/右下は住宅が迫っている

 [video](#)



そこを東側に行って行くと、鳥居が立っていた/ここから頂上の楯築神社へと登ったのであろう



丘陵麓に下りて、西方向に進んでその丘陵を見上げたところ





そこを進むと、ここにも公園の入口があった



その右手を見ると、一寸したマウンドの上に表示板があった



これは西山古墳群の西山3号墳のようだ



参考ホームページ

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~mt2000/Kibi-1.htm>

<https://kofun.info/kofun/2135>

<https://aomatsu123.blog.fc2.com/blog-entry-181.html?sp>

<https://enkieden.exblog.jp/19525104/>

<http://hanaara.jp/kouko/tatetuki.htm>

